

地域連携・キャリア開発センター Newsletter

おもな事業の報告：

【看護師特定行為研修課程の群馬県及び他大学との連携 活動報告】

昨年度より群馬県健康福祉部医務課及び県内看護系2大学との共催により、県内の特定行為研修修了者(県内修了者)を対象にフォローアップ研修会を実施しています。目的は、県内修了者が高度な臨床実践能力を発揮できるよう自己研鑽を継続する機会及びネットワークを形成する機会の提供です。今年度は、第1回(11月)は実践報告及びグループワーク、第2回(1月)は栄養及び水分管理に関する臨床推論の講義を加え、多くの県内修了者にご参加いただきました。



令和7年1月18日(土) 会場：県庁
前橋赤十字病院 高度救命救急センター長
兼救急科学部長 中村光伸先生の講義

【桂萱地区と「骨密度測定会」を共催】 12月1日(日)

桂萱地区地域づくり推進協議会事業の一環である「骨密度測定会」を桂萱公民館にて共催しました。骨密度が低下すると骨折しやすくなり、日常生活にも不便が生じ、様々な健康障害の原因になります。本学と桂萱公民館では骨密度を定期的に測定する事業を継続して行っています。本学教員及び学生ボランティアの皆さんにより骨密度の他に体重、血圧、肌水分量、血管年齢、体脂肪、血中酸素濃度などの測定も実施しました。今年度は89名と多くの近隣住民の皆様にご参加いただきました。



超音波による骨密度測定



お知らせ

◆令和7年度 無料講座・無料セミナーのご案内

【公開授業】前期開講3科目を県民のみなさんに公開しています(無料・要申込)

【看護研究セミナー】*

【対象者】群馬県内の保健医療関係職の方

【内容】第1回「看護研究計画書の作成」

第2回「看護研究における倫理と手続き」

第3回「看護研究のための文献検索と文献検討」

【個別支援成果報告・相談会】

開催日時：5月24日(土) 11時30分～12時30分(対面開催)

【出前講座】健康に関する内容や医療従事者の業務に役立つ講座を用意しています

* オンデマンド配信

第3回は希望者のみ対面演習

5月24日(土) 9:20～11:20



詳細は、HPを
ご覧ください。

学生・教職員の活動紹介：



左から手島瑠美さん、橋本玲奈さん、新井さくらさん

【群馬県母性衛生学会でのぴあサークル活動報告】 12月14日(土)

令和6年度群馬県母性衛生学会において、看護学部2年生の新井さくらさんが、「群馬県の医療系大学生による思春期ピア・エデュケーション活動について」をテーマに、在籍する「ぴあサークル」の活動報告を行いました。新井さんは、「ピア活動の幅を広げ、群馬県をピア活動が盛んな地域として発展させていきたい」と話していました。

【リレー・フォーライフ・ジャパン 2024ぐんま】 10月12日(土)-13日(日)



初開催から12年目となる標記イベントに学生・教職員34名がボランティアチームとして参加しました。当日は、チャリティーくじコーナーやドリンク販売などを担当したほか、がん検診や禁煙を呼びかける横断幕を手のがん征圧に向けてリレーウォークにも参加しました。来年はさらに大勢のチームを組んで参加したいと思います。

【第28回 桃の木祭の開催】 10月26日(土)

今年も本学学園祭の桃の木祭を開催しました。当日は小さなお子さんからご高齢の方まで約400名の皆さまにご来場いただき、ビンゴ大会や射的、聴診体験、ダンスやバンド演奏などをお楽しみいただきました。近隣の皆さまには、バザーやスポーツ吹き矢コーナーの出展などで学園祭を盛り上げていただきました。パンケーキや喫茶コーナーなど学生による模擬店も復活し、楽しい一日となりました。



写真：左上から時計回り、仮装大会、実行委員パーカー、パンケーキ屋、がん予防啓発射的

学生・教職員の活躍

○第1種放射線取扱主任者試験に17名が合格

診療放射線学部3年生を中心に1年生を含む計17名が第1種放射線取扱主任者試験に合格しました。放射線取扱主任者は、放射線安全管理の統括責任者が所持すべき国家資格であり、3種類の資格（第1種、第2種、第3種）の中で第1種が最も難度が高い資格となります。

○保健事業等功労者知事表彰の受賞について

診療放射線学部の五十嵐博准教授が、2011年から一般社団法人群馬県診療放射線技師会役員として、群馬県内の診療放射線技師のがん検診における技術向上等に貢献していることが高く評価され、「保健事業等功労者知事表彰」を受賞しました。



○人命救助活動を行った看護学教員養成課程生について

看護学教員養成課程の泊博子さんが、スポーツ競技中に心肺停止状態となった男性に対し現場に居合わせた看護師と連携して救命活動を実施し、玉村町消防署長様より人命救助に貢献したとして感謝状が贈られました。治療を受けた男性は無事に回復し、現在は通常の生活を送っているそうです。

防協力者感謝状贈呈

